

# 歴史を歩く 61

（未知なる歴史が探究心をかき立てる地域（永吉地区））<sup>②⑦</sup>  
 おおさきの歴史を旅してみませんか



## 10 崎園の六面地蔵

建立の時期は不明。  
 頂上の宝珠が欠落している。  
 六面のうち四面が確認でき、4体の地蔵はそれぞれ薬壺・念珠・幡持・錫杖をもっている。

## 9 愛之原の御茶屋跡

崎園は愛之原（可愛原）と言われていた。  
 大崎名勝誌には、宝暦元年（1751年）藩主・島津重年が藩内巡視を行った際に『愛之原御茶屋』で休憩をとったと記録されている。



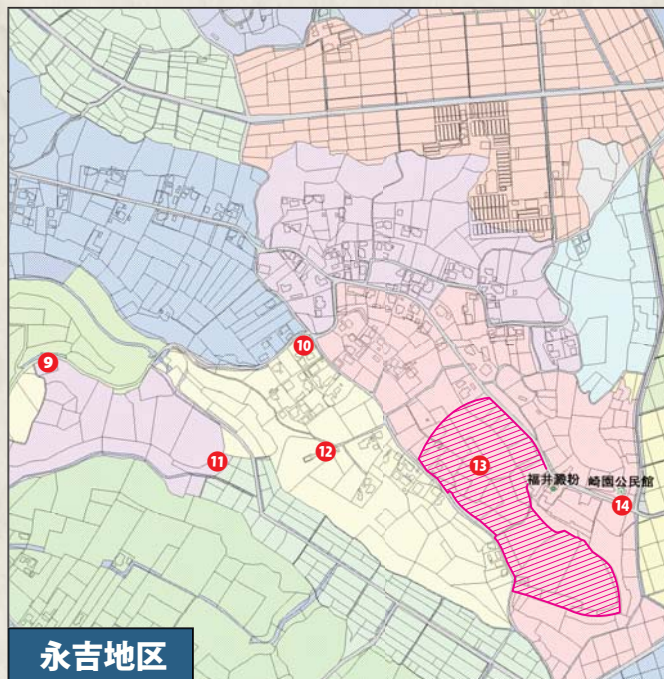
## 11 崎園の砲台跡

太平洋戦争の末期、志布志湾岸一带には本土決戦に備えた陣地が構築され、崎園にも大砲を据えた砲台が造られていた  
 内部は素掘であったためすでに崩落しているが、コンクリートの掩体部は残っている。

## 12 白山神社

棟札から、元和7年（1621年）橋本助七という人物が創建し、また慶安3年（1650年）に藩主・島津光久が再興したことがうかがえる。  
 明治42年（1909年）10月、都萬神社に合祀された後に集会所を兼ねた社殿が造られた。

全国の白山神社の総本社は加賀の白山比咩神社とされ、祭神は白山比咩大神（菊理媛神）・伊弉諾尊・伊弉冉尊である



## 13 野卸城跡

築城時期は不明であるが、鎌倉時代と推定される。

高山串良方面から志布志方面へ通じる交通の要所に位置し、重要な中継点であった。

天正2年（1574年）に肝付氏が島津氏に降った後、廢城になったと考えられる。



## 14 崎園の水神と田の神

田の神は、稲の生長を守り、豊作をもたらす農神である。詳細は不明であるが、シキを被った様子と柔和な表情がうかがえる。

写真左から2番目の水神には、『奉寄進明治33年8月15日』の銘が刻まれている。